



入小安全便り



令和5年1月30日発行 No.12

文責：安全担当（松岡）

↑入谷小ホームページへ↑

【いざというときに備えて】

1月25日（水）は、本校の体育館で行われた救命講習会に5、6年生が参加しました。南三陸消防署から6名の署員の方々を講師としてお招きし、救命の流れや留意点、また心肺蘇生の方法について体験を通して学びました。

始めは緊張している様子の子どもたちでしたが、実技の場面では大きな声で助けを呼んだり、テンポに合わせて絶え間なく胸骨圧迫（心臓マッサージ）を行ったりと、状況に合わせて行動する様子が見られ、頼もしく感じました。

参加者の感想からは、以下のような記載が見られましたので、紹介します。



腕を曲げず、一定のリズムで押しています

(中略) 大きな声を出すのがはずかしかった
り、うまく言葉が出なかったりすることがあります。しかし、大きな声で話さないと気付いてくれなかったり、まして入谷であると、

大声を出すことの必要性が感じられます

【本校の防災教育の在り方について話し合いをしました】

1月26日（木）に、本校の体育館を会場にして「入谷小学校防災教育推進委員会」を開催したところ、教育委員会や警察署・消防署などの関係諸機関や、地区会長の皆さんにお集まりいただき、貴重な御意見をいただきました。

冒頭、本会委員長の山内敏裕様より、小学生は学校職員を頼りにする発達段階であることや、入谷という地区の特性にあった防災について話し合うことの必要性についてお話をいただきました。その後、本年度行われた本校の防災教育の成果や課題点を確認し、次年度の方向性について協議しました。

南三陸町総務課の小野様からは、昨年の11月に行った防災訓練では、炊き出しを行った地区もあるので、令和5年度は大人と子供一緒に行う取組が広がってほしいと話されました。また、南三陸消防署の佐野様からは、入谷地区において死亡事故が11年連続0人であり、良い記録を更新したいなどのお話をいただきました。



子供たちのために、様々な意見が出されました